

令和元年度
第II四半期

保証季報



四半期事業概況

月別事業概況

未来へ歩む京の企業

フジサワ機械株式会社

金融機関紹介

京都信用金庫 梅津支店

関係機関紹介

一般社団法人 京都知恵産業創造の森

お知らせ

当協会は創立 80 周年を迎えました
中小企業再生支援全国本部から「感謝状」を受けました
『「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス認証』、
及び『えるぼし認定』を取得しました

あなたの企業の一員に

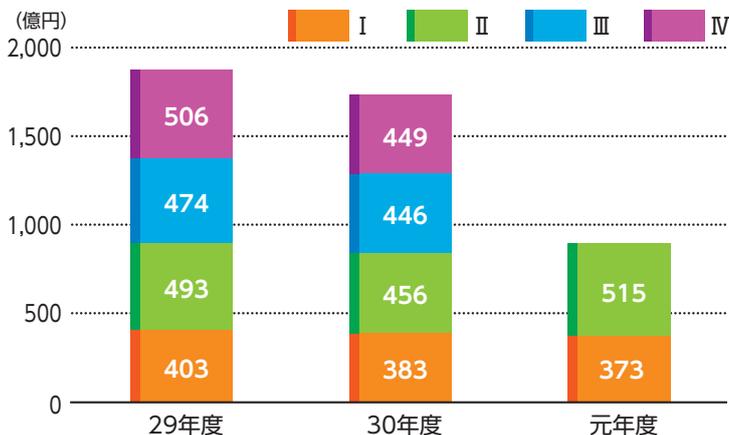
 **京都信用保証協会**
CREDIT GUARANTEE CORPORATION OF KYOTO

福知山市 長安寺／紅葉

保証承諾

(単位:百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	2,098	37,250	93.6	97.3
II	2,615	51,452	103.7	112.9
III				
IV				
年度累計	4,713	88,701	99.0	105.8

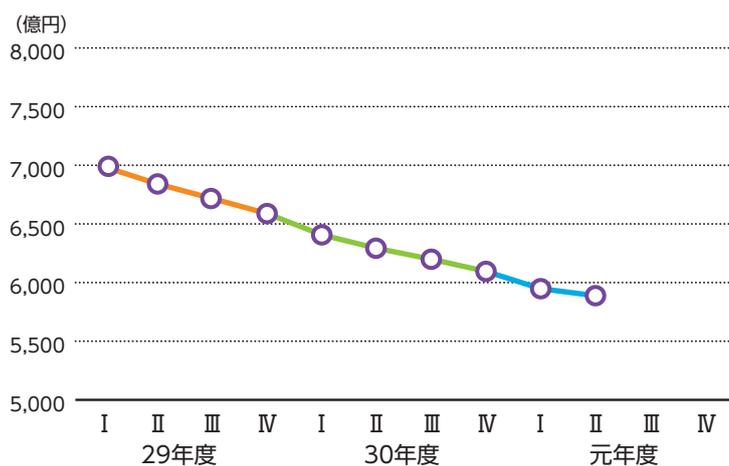


令和元年度第II四半期の保証承諾は2,615件、514億52百万円となりました。前年度と比べ件数で103.7%、金額で112.9%となり、件数、金額ともに前年度を上回りました。

保証債務残高

(単位:百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	43,084	594,781	92.6	92.8
II	42,305	588,829	92.1	93.6
III				
IV				

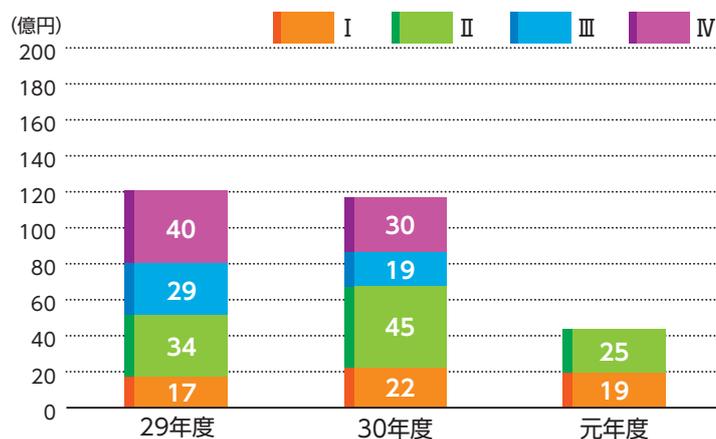


令和元年度第II四半期の保証債務残高は42,305件、5,888億29百万円となりました。前年度と比べ件数で92.1%、金額で93.6%となり、件数、金額ともに前年度を下回りました。

代位弁済

(単位:百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	109	1,886	96.5	86.7
II	145	2,467	54.1	54.3
III				
IV				
年度累計	254	4,353	66.7	64.8

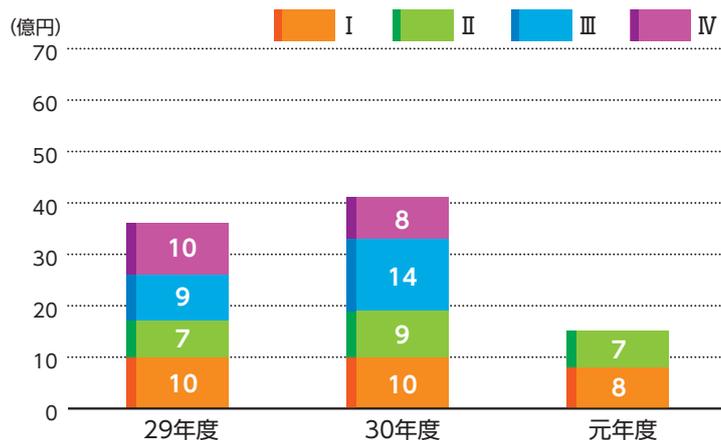


令和元年度第Ⅱ四半期の代位弁済は145件、24億67百万円となりました。前年度と比べ件数で54.1%、金額で54.3%となり、件数、金額ともに前年度を下回りました。

求償権回収

(単位:百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	77	800	100.0	83.5
II	51	702	70.8	76.2
III				
IV				
年度累計	128	1,502	85.9	79.9



※損害金回収を含む。件数は完済分。

令和元年度第Ⅱ四半期の求償権回収は51件、7億2百万円となりました。前年度と比べ件数で70.8%、金額で76.2%となり、件数、金額ともに前年度を下回りました。

保証承諾

(単位:百万円、%)

月別	件数	金額	前年度比	
			件数	金額
4	652	11,480	102.5	98.4
5	659	11,650	86.5	91.9
6	787	14,119	93.2	101.2
7	861	17,044	99.9	115.9
8	782	15,208	93.9	101.4
9	972	19,200	117.7	121.0
小計	4,713	88,701	99.0	105.8
10				
11				
12				
1				
2				
3				
小計				
累計	4,713	88,701	99.0	105.8
事業計画	—	165,000	—	—
全国累計	314,070	3,967,163	99.2	98.5

※全国累計は速報値。

保証債務残高

(単位:百万円、%)

月別	件数	金額	前年度比	
			件数	金額
4	43,726	603,851	93.0	92.4
5	43,347	597,949	92.7	92.5
6	43,084	594,781	92.6	92.8
7	42,786	591,681	92.4	93.1
8	42,495	589,178	92.2	93.1
9	42,305	588,829	92.1	93.6
上期平残	42,957	594,378	92.5	92.9
10				
11				
12				
1				
2				
3				
下期平残				
年度平残				
事業計画	—	565,000	—	—
全国累計	2,270,588	20,656,449	94.5	96.0

※全国累計は速報値。

代位弁済

(単位:百万円、%)

月別	件数	金額	前年度比	
			件数	金額
4	40	507	88.9	82.7
5	31	517	91.2	97.8
6	38	862	111.8	83.3
7	31	471	38.8	33.5
8	43	557	71.7	51.2
9	71	1,438	55.5	70.1
小計	254	4,353	66.7	64.8
10				
11				
12				
1				
2				
3				
小計				
累計	254	4,353	66.7	64.8
事業計画	—	13,000	—	—
全国累計	17,754	165,486	97.4	95.7

※全国累計は速報値。

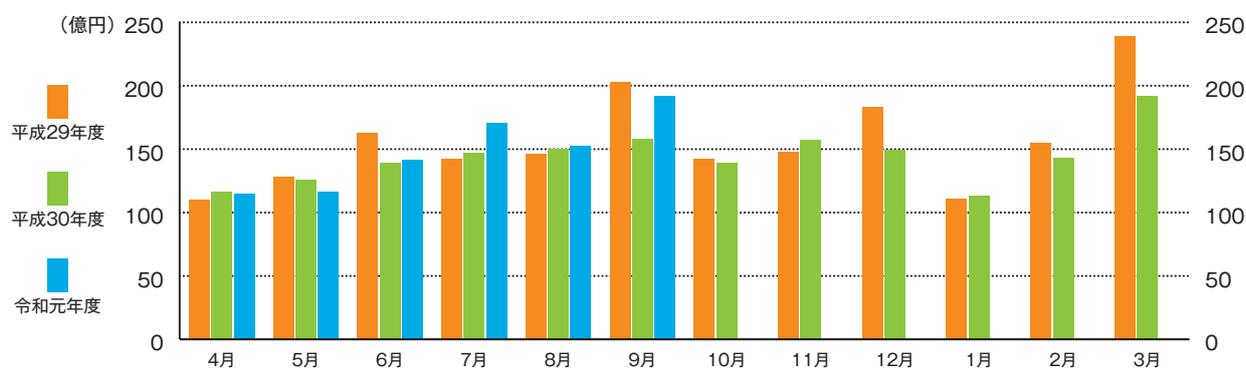
求償権回収

(単位:百万円、%)

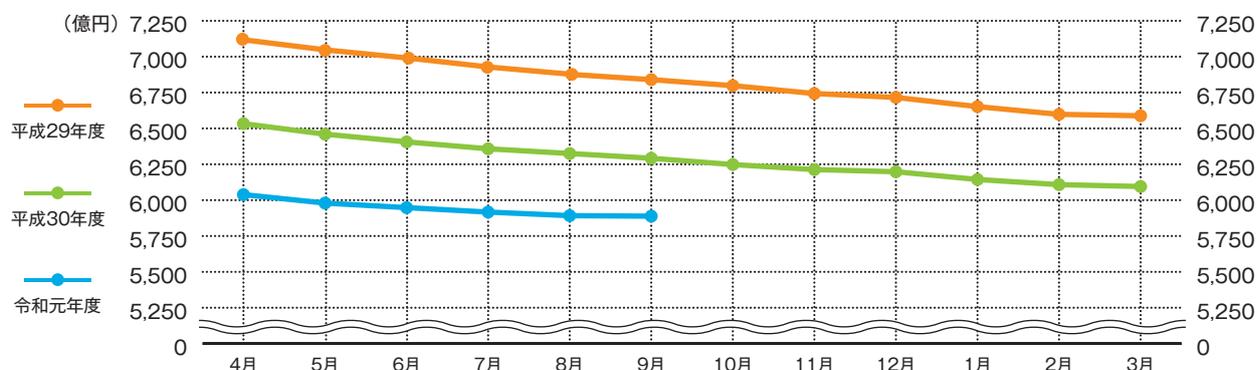
月別	件数	金額	前年度比	
			件数	金額
4	32	286	139.1	98.0
5	29	374	126.1	133.6
6	16	140	51.6	36.2
7	16	271	59.3	77.1
8	20	199	71.4	69.3
9	15	232	88.2	81.9
小計	128	1,502	85.9	79.9
10				
11				
12				
1				
2				
3				
小計				
累計	128	1,502	85.9	79.9
事業計画	—	3,100	—	—
全国累計	—	49,877	—	92.6

※損害金回収を含む。件数は完済分。全国累計は速報値。

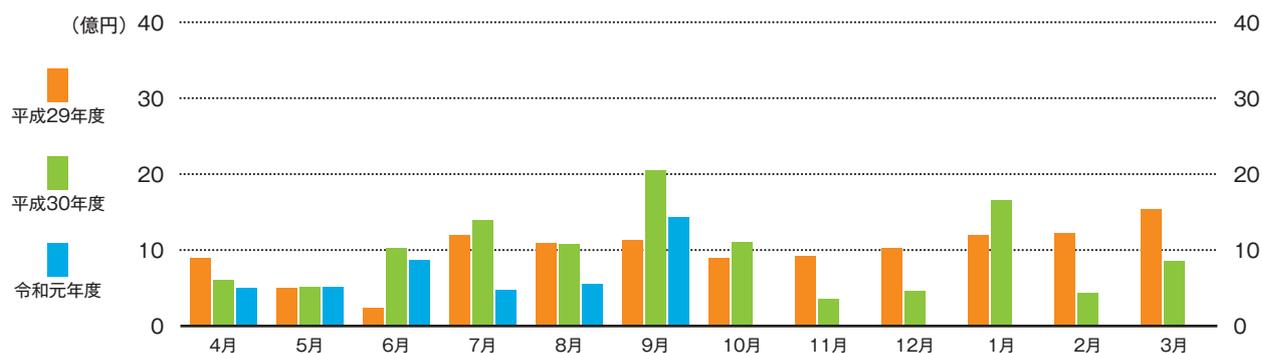
保証承諾



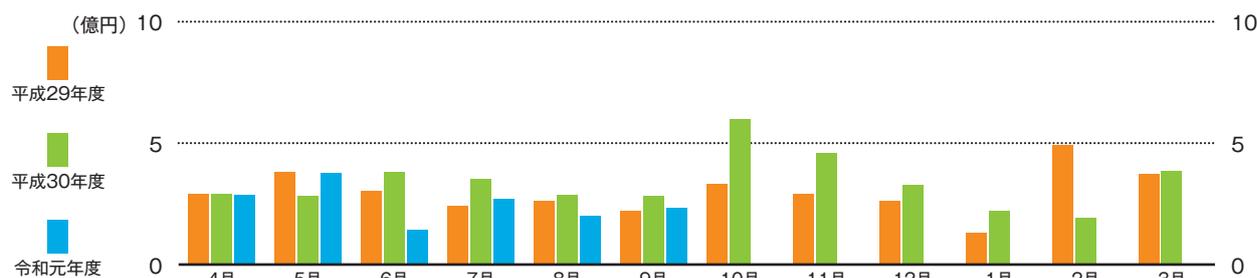
保証債務残高



代位弁済



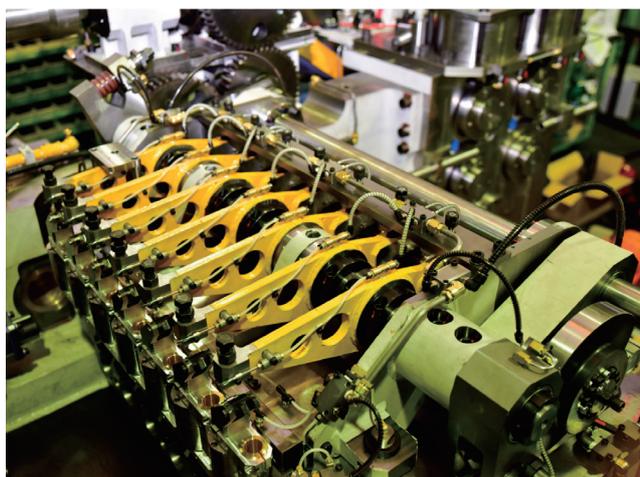
求償権回収



未来へ歩む

京の企業

フジサワ機械株式会社は、横型多段式鍛造機械（フォーマー）製造業を営んでおられます。今回、代表取締役の藤澤紀雄様に、同社の歴史や今後の展望についてお話を伺いました。



 **FUJISAWA**
フジサワ機械株式会社

代表者／代表取締役 藤澤紀雄
住所／京都府宇治市槇島町二十四46番地
事業内容／横型多段式鍛造機械（フォーマー）製造業
創業／昭和53年1月
設立／昭和61年2月

事業承継と、新代表者としての悩み

はじめに、同社の歴史と、代表就任に至るまでの経緯について伺いました。

「当社は、昭和53年に先代である父が個人の修理工場を立ち上げたことが始まりです。お客様から、修理だけでなくオーバーホールや新規の機械を作って欲しいとの要望を受けたことをきっかけに、現在の修理・オーバーホール及び新規フォーマーの製造を行う業態になりました。そして、昭和61年に法人成りし、平成元年に現在の工場へ移転しました。私が入社したのは15年程前で、当時は主に現場業務や営業業務を担当していました。平成28年に金融機関の協力を受けながら、父から事業を承継し、経営面にも携わるようになりました。」

次に、現場見学を行いながら、事業内容についてご説明をいただきました。

「当社では、主に横型多段式鍛造機械、通称“フォーマー”というプレス機を製造しています。プレス機といえば、基本的には上から下へ縦向きにプレスするものをまずイメージされると思いますが、当社の製品は、横向きにプレスを行うことが特徴です。そうすることによって、連続鍛造が可能となり、自動車のナットやボルトなど、特定の部品を量産することが可能になります。」

続いて、事業承継後の代表者としての課題や悩みについて伺いました。

「代表に就任してからしばらくすると、原価管理をはじめとした数値管理や従業員とのコミュニケーション不足が当社の課題だと感じるようになりました。特に原価管理に関しては、個別の製品每では利益が出ているにもかかわらず、期末に全体集計を行うと想像を下回る利益となり、その要因が分からないことが大きな悩みの種でした。」



代表取締役
藤澤 紀雄 様

“日本を代表するフォーマーメーカー”を目指して

悩みを解決すべく、当協会の専門家派遣事業をご活用されました。

「3年程前に京都信用保証協会の専門家派遣事業を活用しました。原価管理の仕組みから実際の管理方法まで様々な助言をしていただいたことで、利益の差異の要因に気付くことができました。また、従業員と一緒に日々改善策を検討する中で、従業員とのコミュニケーションも増えてきました。その他にも、日報の作成や5S等の取組みもご指導いただきました。日報の作成は現在も継続できており、5Sについても従業員が自主的に行う動きがみられるようになりました。」

最後に、今後の展望について伺いました。

「現在、様々な取組みが徐々に従業員にも浸透し、効果が表れ始めています。今後も教わったことを継続してより良い会社に成長させたいと思っています。将来的には、工場の規模をより大きくして新規の製造にも注力し、“日本を代表するフォーマーメーカー”といえばフジサワ機械”と呼ばれるような存在になりたいと考えています。」

今回の取材では、藤澤様の代表者としての経営努力と、今後も目標に向かって自社を成長させていこうとする強い気持ちが伝わってきました。

保証協会へメッセージ /

3年程前に、「京都バリューアップサポート」を紹介いただきました。専門家の先生からご指導頂いたことで、それまでぼんやりしていた数値予測が出来るようになり、とても感謝しております。現在も引き続き、先生にご指導を賜り、勉強をさせて頂いております。今後も様々な金融・経営支援を推進いただければと思っております。



常務取締役
藤澤 優貴 様

京都信用金庫 梅津支店

〒615-0907 京都市右京区梅津段町23-9

支店の沿革

昭和44年 3月 現在地に梅津支店開設
平成27年 7月 新店舗に改装



支店の
スローガン

梅津支店のファンを 一人でも多く！

お客様が困っているときに一番に相談していただける店舗、気持ちよく来店していただける店舗を目指すことで、一人でも多くの梅津支店ファンを獲得していきたいと考えています。



■支店管内の産業の特色及び中小企業金融の取組などについて

当店は京都市の西部、桂川の東岸に位置します。管内は大手の先端企業と中小の伝統産業がうまく共存する地域です。当店では中小企業者のおよき事業パートナーとなることを目標に、融資や事業者同士のマッチング、また事業継承に係る課題解決などの支援を通じて、お客様との信頼関係の構築に努めています。

■保証協会との連携について

経営基盤が盤石でない中小企業者への金融支援・経営支援において、保証協会の保証制度や経営支援メニューを活用することにより中小企業支援の選択肢を増やすことができ、大変感謝しています。今後も保証協会と連携し、多様な顧客ニーズに応じた支援を積極的に取り組んでいきたいと考えています。

支店長の
モットー

できると思うから
できる。

何をやるにしても「無理」と考えてしまえば、思考も手足も止まってしまう。自分なら「できる」と思い、考え、行動することが重要です。大抵のことはみんなで考え、行動すれば解決することができます！

これまでで
一番心に
残る体験

経験豊富な営業担当者でも躊躇するような融資判断の難しい案件について、新人営業担当者の「支援の可能性を最後まで模索したい」との思いを受け、お客様と面談を繰り返し、数か月もの時間をかけて融資実行に結び付けたことが印象に残っています。情熱は周りの人をも動かし、「できると思うからできる」ということを改めて教えられました。



支店長
平野 勝識 様

保証協会へ
メッセージ

融資判断が非常に難しい案件に対して、「何とかしてこの企業を支えてあげられないか」との保証協会の担当者からの意見も受け、保証協会付融資に結び付けた案件があり、我々には中小企業支援の頼れるパートナーがいると再認識しました。今後とも協力体制を強化しつつ地域を盛り上げていきたいと考えていますので、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

職員の方々への
アドバイス

「仕事の報酬は仕事」です。目の前の仕事に情熱を持って大事に取り組めば、お客様だけでなく職場の仲間からも信頼されるようになります。信頼を得られるようになれば、お客様から色々な相談を受ける機会が増え、社内でもより一層やり甲斐のある仕事を任されるようになります。成長していく職員の姿を見られることが一番の楽しみです。



関係機関
紹介



一般社団法人 京都知恵産業創造の森

所在地 下京区四条室町東入ル 京都経済センター 3階

電話番号 075-353-2300

本年度は、京都府内の経済団体等が一堂に集結することで様々な知恵が融合した価値を生み出す“京都経済センター”に同居する中小企業支援機関を紹介しています。

今回は、一般社団法人 京都知恵産業創造の森 企画総務部次長 梅垣 純 様に、活動内容や今後の展望、保証協会との連携などについてお話を伺いました。



左から 柳井主査、湯川次長、檜館主査、生田主任、岡田事務局長、梅垣次長

事業概況や活動内容について

一般社団法人 京都知恵産業創造の森（知恵森）は、2018年11月に京都府、京都市、京都商工会議所、公益社団法人 京都工業会、京都信用保証協会の協力のもと、オール京都体制により設立されました。京都経済百年の計として実現した「京都経済センター」の最大の特徴である多数の経済団体や支援機関等が集結している点を活かしながら、オール京都の様々な知恵の「交流

と融合」により幅広い分野で新たな価値の創造を図ります。また、産業人材育成等の産業施策の戦略的な推進を図るとともに、産学公連携やスマート社会の実現に向けた取組みも推進し、未来につながるイノベーションや企業の支援、知恵を活かしたビジネスプランの創発等、「持続可能な社会を支える産業群の育成」を目指し、公益を第一に多様な活動を展開しています。

■中小企業・小規模事業者への支援内容

『オープンイノベーションカフェ「KOIN」について』

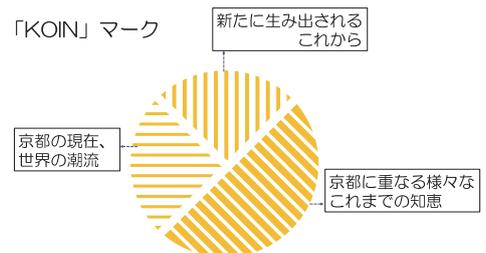
知恵森が運営するオープンイノベーションカフェ「KOIN (Kyoto Open Innovation Network)」は、京都の知恵と技術により、新しい一歩を踏み出す人を応援する「交流と融合」の場です。四条室町の立地を活かし、4月の本格オープン以来約半年で、起業を目指す人やベンチャー・中小企業経営者、研究者や学生、支援機関関係者などKOINの個人登録者は1,350名を超え、ビジネスミーティングや創業セミナー、ピッチ会など延べ13,700人の方にご利用いただいています(9月末現在)。「KOIN」のコンセプトは「時代をつくる出会いを。」。これからの京都産業の支柱となる若手世代(35歳以下)を対象にした「U35起業家育成プロジェクト事業」や創業アイデアを実現に向けて熟成させる「アクセラレータープログラム」、また学生を対象とした各種セミナーなどスタディーイベントはもちろん、KOIN利用者の皆様とKOINスタッフが飲み物を片手に語り合う気軽なイベント「KOIN BAR(不定期開催)」など、様々な企画や交流を通して業種や組織、年代を超えた「KOIN」ならではの濃密且つ新たなビジネスコミュニティーの創出を目指しています。



■中小企業者(関係機関)に伝えたいこと

『みんなの知があつまれば、京都はもっとおもしろくなる』

「KOIN」のマークは、京都で積み重ねられてきたこれまでの知恵を土台とし、その上に今の京都や現在の世界の潮流が存在し、両者に支えられて新たに生み出されるこれからの京都を表現しています。これからも京都が伝統と革新が共存する街であり続けるには、様々な人が交流と融合を繰り返し、お互いの事業を支えあうことが大切です。過去に学び、未来を思い、今を生きる人たちが集い、高めあう共創の場である「KOIN」。ビジネスに携わる方に限らず、大学生、専門学校生、高校生、主婦など、京都で新しい挑戦をしようとする方に知恵森は決して「NO!」と言いません。多様なネットワークで皆様を応援しますので、ビジネスに関する出会い、情報収集、個別相談、何でもお気軽にご利用ください。



■保証協会や経済センター内での連携支援について

『クロスが生み出す新たな価値を』

新たな価値を創造していくためには、多様な知恵・情報・技術を掛け合わせ「クロス」の発想が求められます。京都経済センターに入居する50を超える経済団体や産業支援機関が団体間の枠組みを超えて交わることは、新たな価値を生み出す「クロス・バリュー・クリエーション」につながり、次代に向けて知恵産業の育成・発信を進めるうえで大変重要です。知恵森では、貴協会をはじめ、全ての入居者団体の皆様、ご利用者の皆様と「クロス=掛け合わせ」を深め、京都から豊かな知恵産業の森を構築できるよう取り組んでまいります。



オープンイノベーションカフェ「KOIN」は、新しい一歩を踏み出す人のために一般社団法人京都知恵産業創造の森が運営する共創の場です。例えば、こんな方をお待ちしています。

起業に興味を持った人



「何から始めればいいかわからない」
「事業の資金調達をしたい」
「一緒に取り組むパートナーに出会いたい」

事業を強化・拡大したい人



「新たな事業アイデアを考えている」
「時代に合わせて会社を変革したい」
「事業継承を考え始めたい」

大学・研究機関の人



「民間との共創を増やしたい」
「新たな人材と出会いたい」
「他分野の人と交流したい」

時代をつくる出会いを。
夢を形にしたい人は、ぜひ「KOIN」へ!

ホームページ



Facebook



Twitter



Instagram



ACCESS : 〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地 京都経済センター3階 TEL : 075-353-2301

お知らせ

当協会は創立80周年を迎えました

当協会はおかげさまで令和元年9月6日をもって創立80周年を迎えました。

今後も当協会は「金融と経営の総合支援サービス機関」として、中小企業者の多様な資金ニーズやライフステージに応じた金融支援・経営支援により一層取り組んでまいります。

なお、創立80周年を記念した保証制度を期間限定で設けていますので、ぜひご活用ください。



中小企業再生支援全国本部から「感謝状」を受けました

平成30年度における当協会の再生支援の取り組みが中小企業再生支援協議会事業に貢献したと評価され、令和元年8月28日(水)に中小企業再生支援全国本部から「感謝状」を受けました。

京都では、当協会を事務局とし、地元金融機関、京都府、京都市、京都府中小企業再生支援協議会等で構成する「京都再生ネットワーク会議」を軸とした“オール京都”体制で、地元企業の再生支援に取り組んでいます。また、融資期間最長20年の京都府・京都市協調の融資制度「中小企業再生支援

資金」を活用することにより、協議会の再生計画策定完了案件にかかる当協会の保証承諾実績は全国の保証協会第一位（平成31年3月末累計：526企業、571億円）となっており、先述526企業における2万人超の従業員の雇用確保にも貢献しています。

今後も“オール京都”体制のもと、1件でも多くの中小企業の再生に取り組み、地域経済の維持発展に貢献してまいります。



『「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス認証』、 及び『えるぼし認定』を取得しました

当協会は以前からワーク・ライフ・バランス推進及び女性の活躍推進に取り組んでおり、令和元年7月31日付で京都府の『「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス認証』を、令和元年8月5日付で女性活躍推進法に基づく『えるぼし認定（二つ星）』をそれぞれ取得しました。

平成30年11月には厚生労働省の子育てサポート企業『くるみん認定』も取得しており、今後も引き続き職場のダイバーシティを推進し、働きやすい職場環境づくりに努めてまいります。



〈ワーク・ライフ・バランス認証〉



〈えるぼし認定〉



〈くるみん認定〉

認定・認証	概要
「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス認証	ワーク・ライフ・バランスに取り組む方針を宣言し、自社に合った取組みを推進・制度化し、利用実績が出るなど一定の基準を満たすことで、京都府知事から与えられる認証。
えるぼし認定	女性活躍推進法に基づき、一般事業主行動計画を策定した企業のうち、女性の活躍推進に関する取組みの実施状況が優良な企業に対して、厚生労働大臣から与えられる認定。
くるみん認定	次世代育成支援対策推進法に基づき、一般事業主行動計画を策定した企業のうち、計画に定める目標を達成し、一定の基準を満たした企業に対して、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣から与えられる認定。

本所

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地
京都経済センター5階

●業務区域／京都市、向日市、長岡京市、乙訓郡

●電話

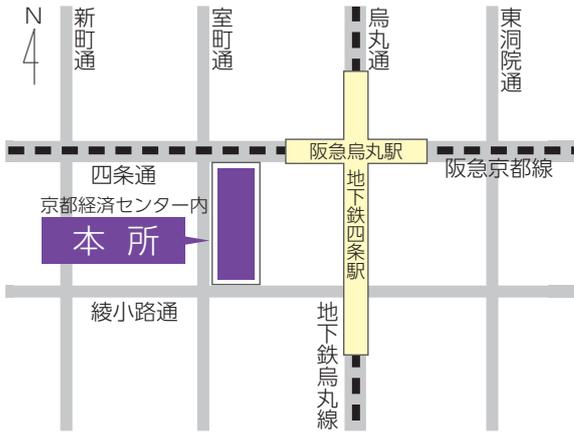
●FAX

保証統括課	：(075) 354-1011	(075) 354-1061
企業発展推進課	：(075) 354-1012	(075) 354-1062
保証審査課	：(075) 354-1013	(075) 354-1063
経営支援課	：(075) 354-1015	(075) 354-1065
再生支援課	：(075) 354-1016	(075) 354-1066
調整支援課	：(075) 354-1016	(075) 354-1066
管理統括課	：(075) 354-1031	(075) 354-1038
管理第一課・第二課	：(075) 354-1031	(075) 354-1038
総務課 (経営監査・コンプライアンス室)	：(075) 354-1021	(075) 354-1028
人事課	：(075) 354-1022	(075) 354-1028
情報企画課	：(075) 354-1023	(075) 354-1029

専用相談窓口

●電話

事業承継サポートデスク	：(075) 354-1018
海外展開サポートデスク	：(075) 354-1019
創業サポートデスク	：(075) 354-1020



山城支所

〒611-0033 宇治市大久保町上ノ山37番地の3

●業務区域／宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、相楽郡、綴喜郡、久世郡

●電話／ ●FAX／

保証関係：(0774) 43-8822 保証関係：(0774) 43-8899

管理関係：(0774) 43-8823 管理関係：(0774) 43-8824



中丹支所

〒620-0804 福知山市石原2丁目24番地

●業務区域／福知山市、綾部市、舞鶴市

●電話／(0773) 27-6156 ●FAX／(0773) 27-6158



南丹支所

〒621-0052 亀岡市千代川町千原2丁目6番11号

●業務区域／亀岡市、南丹市、船井郡

●電話／(0771) 22-1041 ●FAX／(0771) 22-6737



丹後支所

〒629-2503 京丹后市大宮町周枳2226番地3

●業務区域／宮津市、京丹后市、与謝郡

●電話／(0772) 68-0601 ●FAX／(0772) 68-0613

あなたの企業の一員に

京都信用保証協会
CREDIT GUARANTEE CORPORATION OF KYOTO
<http://www.kyosinpo.or.jp/>



表紙の写真／長安寺 紅葉

聖徳太子の弟である麻呂子親王が創建したといわれる古刹。紅葉やイチョウ、枝垂れ桜など四季折々の鮮やかな景色を楽しむことができる。特に秋の紅葉は「丹波のもみじ寺」とも呼ばれるほど美しく、例年11月に開催されるもみじ祭りには多くの観光客が訪れる。